

一般質問



高橋 議員

- 一、鷹島神崎遺跡について
二、東部工業団地への企業誘致について

質問

- 一、(1)本年3月に海底遺跡として初めて国史跡に指定されたことを受け、韓国全羅南道木浦市に水中考古学の先進地視察のため職員を派遣したのは、時宜を捉えた施策と評価する。その視察研修の所感をお尋ねします。
- (2)今後どのように保存、管理、活用をしていくのか。早急に方針を決定すべきではないか。
- (3)海底遺跡とは言いながらも盗掘の恐れもある。漁協などへ監視のお願いをすべきと考えるがどうか。
- (4)松浦高校に水中考古学クラブを立ち上げて頂き、市がこれを支援すること、地元高校として他にない特異性を発揮してもらってはどうか。
- 二、(1)企業誘致について、どのような体制で臨んでいるのか。
- (2)工業団地周辺の環境整備は非常に大切である。定住促進住宅や野球場の建設など、早急に取り組むべきと考えるがどうか。また、今福工業団地に野球場建設予定地を表示した看板を立ててはどうか。
- (3)東部工業団地という名称は硬いイメージがある。その土地の字に因んで幸福団地と称してはどうか。

答弁

- 一、(1)8月29日から31日まで韓国木浦市にある国立海洋文化財研究所を訪問し、新安沖で難破した中国貿易船の復元展示状況と研究所の組織や規模について視察しました。船体の発見から調査、引き上げ、保存処理、展示が国家レベルのプロジェクトとして行われており、日本とはかなり違うと感じました。
- (2)国の指導を仰ぎながら、鷹島神崎遺跡保存管理計画策定委員会で行うだけ早く計画策定に努めます。
- (3)漁協、住民、海上保安署、松浦署等と早急に協議を行い、しっかりとした手段を取ろうと進めています。
- (4)高校の校長とも協議を行い、そういうことができないか検討したい。
- 二、(1)長崎県産業振興財団へ職員1名の派遣増員を予定しています。
- (2)市の全体計画との調整を図り、年度別計画の中で事業費等の割り付けを行うなどの作業をしているところです。看板については、今後検討いたします。
- (3)名称は大事なことです。完成後の名前については、ご提案も含めて今後検討いたします。

一般質問



白石 議員

- 一、たばこと健康について
二、葉たばこ農業について

質問

- 一、(1)たばこが体によくないと言われる根拠を市民にどのように説明をして健康づくりを推進していますか。
- (2)がんで死亡する人の多くは、たばこが原因ではとされています。県内、市内ではどうなっていますか。
- (3)若い人は、たばこの煙が嫌だという人が多い。本市は体験型旅行事業で身体的にも精神的にも大切な時期の修学旅行生を受け入れています。たばこによる健康被害を予防するため、市民の決まりを制定すべきだと思いますがいかがですか。
- (4)未成年者の喫煙禁止についての対策はできていますか。
- 二、(1)全国でも最上質なたばこを作る技術力を持った本市のたばこ産地である鷹島と御厨を守るご支援を頂けないか、お考えをお聞きます。
- (2)葉たばこ農家の縮小は、生産者だけの問題ではなく雇用の場がなくなるといことですが、ご意見と対策について伺います。
- (3)廃作された農家の共同乾燥施設、共同機械等が、転作しようとしている継続農家へどのように活用されているのか伺います。

答弁

- 一、(1)市報への掲載、禁煙ポスターの掲示やリーフレット配布などの周知啓発を、また、住民健診時等の際には禁煙指導などを行っています。
- (2)県の統計年報によるとがんの死亡部位では、1位が気管・気管支及び肺、2位が胃、3位が肝及び肝内胆管のがんとなっています。
- (3)現在、規制の制定は考えていませんが、国や他の自治体の取り組みを見ながら検討する必要があります。
- (4)小中学校での指導については、保健体育、道徳、特別活動などあらゆる教育活動の中で実施しております。
- 二、(1)葉たばこは基幹作物だと思っています。継続して耕作ができるよう県やJT、耕作組合の関係者とともに、後継者や生産、労力などの対策を支援し、安定経営につなげていくための方策を定めてまいりたい。
- (2)現在、緊急雇用創出事業による営農サポート事業を実施中です。農業での雇用の確保と担い手の労力支援に取り組んでまいります。
- (3)施設や機械の活用については、関係者間で工夫されており、市が直接指導するまでには至っておりません。